



## 歯の根っこの新しい治療法『歯髄回復治療』

虫歯が進むと、「ズキズキ」一日中痛むようになります。  
そうすると、歯医者さんでは・・・

するとここからが大変！麻酔をして歯にガ〜と穴を開けられ、針の様な器具を突っ込まれます。さらに一旦神経を抜いて根っこの治療に入ると、しょっちゅう通院しなくてはいけなくなります。  
毎回ちびちびとお薬交換などを経て、何か月か通ってやっと最終的なお薬を詰めて・・・  
かぶせ物まで完成して一段落したと思ったら、何年後かにまた再発して、また治療・・・  
というパターンが非常に多いのが神経を抜く&根っこの治療です。



### 神経を抜くなどの根っこの治療

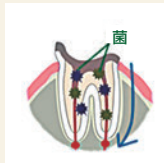
#### 歯髄について

歯の中には神経と血管の入った袋(歯髄)があります。これは顎の骨の中に神経と血管の太い本幹が走っていて、それぞれの歯に枝分かれして入っています。



#### 虫歯の進行で・・・

虫歯が深くなり、歯がどんどん溶かされてゆくと、やがて歯髄へと菌が到達します。



#### 歯髄が腫れる

感染した歯髄は炎症を起こします。つまり歯の中で歯髄が腫れてしまいます。するとズキズキ痛んでくるという仕組みです。



こうなると通常の歯科治療では、神経を抜く(抜髄)と言われる方法を取ります。厳密には歯の中に入っている部分の歯髄のみを切り取ります。ですので骨の中を走る神経と血管の本幹は生きています。

時々神経を抜いたはずなのに痛いということがありますが、これは骨の中の神経が生きているからです。しかし神経を抜いた(抜髄した)歯は“死んだ歯”となります。

死んだ歯は枯れ木と同じです。生きた木は力を加えても、しなって折れません。しかし枯れ木は力を加えると、折れてしまいます。死んだ歯も同じで、折れたり割れたりしやすくなります。折れたり割れたりした歯は、ほとんど抜歯になります。

当クリニックの『歯髄回復治療』なら  
歯を生かしたまま残せる!治療回数が大幅に減る!

当クリニックのモットーである、“**抜かずに歯を残す**”ためにも、少しでも神経も抜きたくありません。しかしなかなか一度感染を起こした歯髄の治療は困難であり、今までは抜髄が一般的な治療法でした。

そこで特殊な薬剤を用いることで、感染を起こして痛みが出てしまった歯を、抜髄せずに治す治療方法を考案いたしました。実際にたくさんの患者さんに施術し、大変喜ばれています。

神経を抜かない(抜髄しない)ので、歯を生かしたまま保存することができ、歯の寿命が長くなります。

さらに治療期間や回数が大幅に縮まりますので、時間的・経済的負担が少なくなります。

一度神経を抜いた歯は、もう元に戻りません。

**歯を救うチャンスは一度しかない**のです。ぜひお勧めしたい治療法です。